

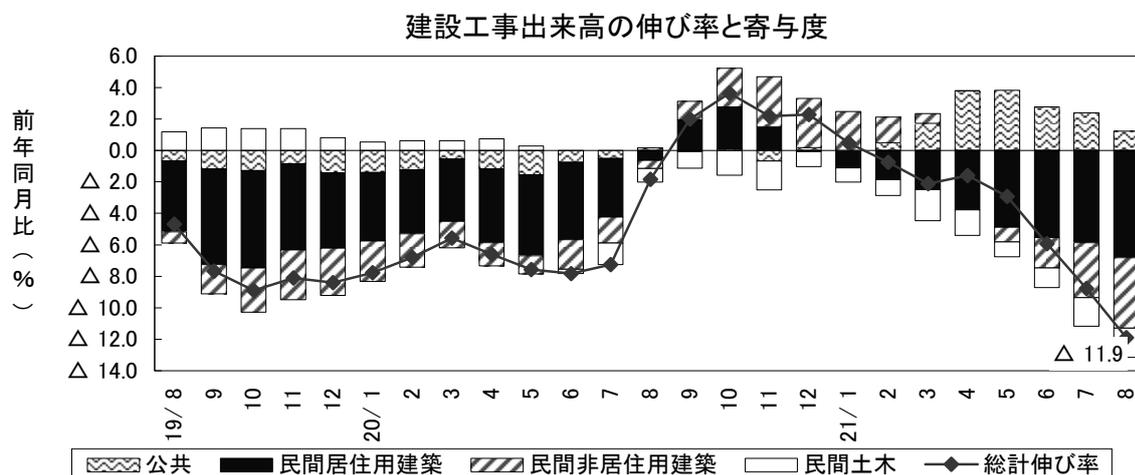
1. 建設投資の概況

(1) 建設工事出来高

8月の建設工事出来高は、全体で3兆5,529億円と前年同月比11.9%減少した。

公共は、建築が2,045億円（前年同月比10.7%増）、土木が1兆6,919億円（同2.9%増）となり、全体では1兆2,736億円（同4.1%増）となった。

民間は、建築が1兆8,371億円（前年同月比19.9%減）、土木が4,422億円（同14.5%減）となり、全体では2兆2,793億円（同18.9%減）となった。



(単位：億円)

区分 年度年月		総計	民間	建築		土木	公共	
				居住用	非居住用			
				年	18年度			528,833
	19	500,514	330,587	261,618	176,043	85,575	68,969	169,927
	20	491,749	322,516	258,227	168,924	89,302	64,290	169,232
月	21年5月	33,053	22,609	17,943	11,496	6,447	4,666	10,444
	6	33,566	22,763	17,986	11,775	6,211	4,777	10,804
	7	34,287	22,767	18,293	12,256	6,037	4,474	11,520
次	8	35,529	22,793	18,371	12,419	5,952	4,422	12,736

(前年比・%)

年	18年度	△ 1.4	4.3	3.9	3.7	4.3	6.2	△ 11.0	
	19	△ 5.4	△ 6.4	△ 9.6	△ 9.9	△ 9.1	8.3	△ 3.2	
度	20	△ 1.8	△ 2.4	△ 1.3	△ 4.0	4.4	△ 6.8	△ 0.4	
月	20年8月	△ 1.8	△ 2.9	△ 2.0	△ 1.7	△ 2.6	△ 6.5	0.6	
	9	2.0	3.1	5.9	5.6	6.5	△ 7.5	△ 0.2	
	10	3.6	5.6	10.3	8.0	15.0	△ 11.4	0.3	
	11	2.2	4.7	9.8	4.6	21.3	△ 13.3	△ 1.7	
	12	2.3	3.5	6.5	△ 0.2	21.7	△ 7.1	0.4	
	21年1月	0.5	0.8	2.9	△ 3.4	16.6	△ 6.9	0.0	
	2	△ 0.7	△ 2.0	△ 0.5	△ 5.7	10.3	△ 7.3	1.3	
	3	△ 2.1	△ 6.2	△ 4.1	△ 8.1	3.9	△ 12.6	4.5	
	4	△ 1.6	△ 8.1	△ 7.2	△ 11.0	0.1	△ 11.2	11.3	
	5	△ 2.9	△ 9.2	△ 9.9	△ 12.6	△ 4.7	△ 6.4	14.3	
	次	6	△ 5.9	△ 12.0	△ 12.9	△ 14.4	△ 10.0	△ 8.5	10.1
		7	△ 8.8	△ 15.6	△ 16.1	△ 15.2	△ 17.8	△ 13.3	8.5
	8	△ 11.9	△ 18.9	△ 19.9	△ 18.1	△ 23.3	△ 14.5	4.1	
累計	4月～8月	△ 6.4	△ 12.9	△ 13.4	△ 14.4	△ 11.6	△ 10.8	9.4	

資料：国土交通省「建設総統計」

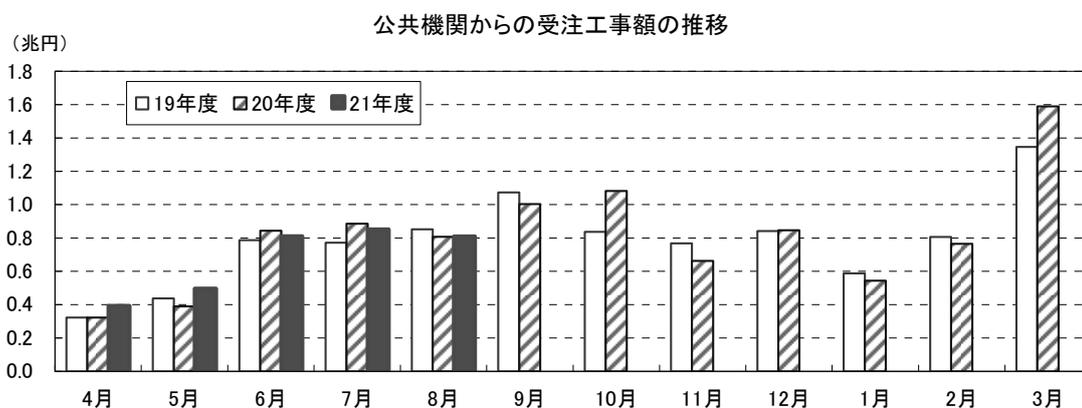
(2) 公共機関からの受注工事

8月の公共機関からの受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は8,094億円で、前年同月比0.2%増加（3ヶ月ぶり）した。うち国の機関からは2,557億円で同7.9%減少（3ヶ月連続）、地方の機関からは5,537億円で同4.5%増加（2ヶ月連続）した。

工事分類別でみると、農林水産（前年同月比25.6%増、寄与度+1.9）、上・工業水道（同41.0%増、寄与度+1.7）等が増加し、道路（同15.2%減、寄与度-5.1）、教育・病院（同17.2%減、寄与度-2.7）等が減少した。

さらに、発注機関・工事分類別でみると、都道府県の農林水産（寄与度+1.7）、市区町村の下水道（寄与度+1.6）等のプラスの寄与度が大きい。

8月の大手50社調査では、公共工事は前年同月比16.0%減少（4ヶ月連続）した。

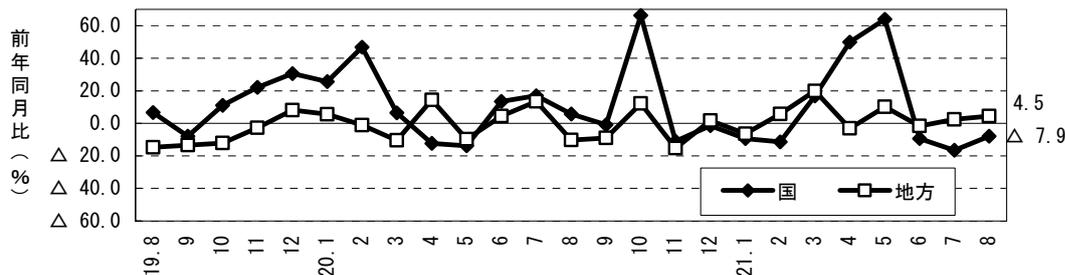


公共機関からの受注工事額（前年比・%）

区分	年度年月	総計	国の機関				地方の機関				
			小計	国	独立行政法人	政府関連企業等	小計	都道府県	市区町村	地方公営企業	その他
年	18年度	△ 12.8	△ 10.0	△ 3.6	-	-	△ 14.2	△ 15.2	△ 12.8	△ 16.9	△ 13.8
	19	0.5	16.9	8.7	50.1	18.6	△ 8.0	△ 2.8	△ 11.4	△ 2.5	△ 33.5
	20	3.3	6.5	7.9	△ 8.6	13.6	1.2	△ 0.8	2.2	1.2	14.0
月	20年8年	△ 5.4	5.8	△ 9.6	26.6	32.9	△ 10.3	△ 9.2	△ 1.7	△ 42.4	△ 27.2
	9	△ 6.4	△ 0.9	2.1	7.0	△ 9.8	△ 9.0	△ 4.9	△ 4.7	△ 33.7	△ 38.6
	10	29.2	66.4	45.3	43.5	114.2	12.2	19.2	5.8	15.1	△ 12.2
	11	△ 13.9	△ 10.9	△ 0.5	△ 5.3	△ 29.1	△ 15.3	△ 5.4	△ 20.5	△ 37.9	△ 36.9
	12	0.5	△ 1.5	21.0	△ 18.0	△ 19.6	1.7	△ 11.5	5.6	61.0	14.5
	21年1月	△ 7.6	△ 9.3	△ 11.8	△ 2.3	△ 8.8	△ 6.5	△ 10.7	△ 7.9	32.0	13.1
	2	△ 4.9	△ 11.4	△ 8.5	△ 22.9	△ 6.7	5.7	△ 2.2	8.4	△ 6.0	98.3
	3	18.1	16.8	27.4	△ 5.7	0.4	19.8	19.0	11.6	43.4	74.2
次	4	21.8	50.0	68.3	34.2	29.3	△ 3.2	31.8	△ 4.4	△ 24.4	△ 56.4
	5	27.5	64.0	50.0	18.1	107.9	10.1	36.6	16.4	△ 37.2	△ 47.1
	6	△ 4.0	△ 9.3	33.7	△ 3.3	△ 37.6	△ 1.6	△ 29.1	26.7	△ 50.1	4.9
	7	△ 3.9	△ 16.6	△ 15.1	△ 43.7	△ 9.8	2.5	1.8	4.1	19.9	△ 40.0
	8	0.2	△ 7.9	24.7	△ 55.3	△ 41.2	4.5	△ 6.6	8.4	41.4	37.9
累計	4月～8月	3.4	5.5	23.4	△ 20.4	△ 10.2	2.3	△ 3.9	12.7	△ 13.4	△ 23.2

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計」

発注機関別受注工事額の伸び率



政府建設投資関連指標

(単位:億円)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額(※)	出来高 (総統計)	公的固定 資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
19年度	94,329	37,381	56,948	21,031	117,818	169,927	203,609
20	97,405	39,793	57,612	25,977	117,951	169,232	200,911
20年Ⅲ期	26,965	9,034	17,932	5,223	33,180	36,741	44,764
Ⅳ	25,897	9,567	16,329	6,590	27,990	52,157	61,670
21年Ⅰ期	28,988	15,807	13,181	10,119	28,338	48,651	56,725
Ⅱ	16,988	6,701	10,288	3,459	32,131	35,422	41,944
21年3月	15,898	9,245	6,653	6,394	15,969	18,035	/
4	3,927	2,270	1,656	856	13,288	14,174	
5	4,961	2,057	2,904	815	7,866	10,444	
6	8,101	2,374	5,727	1,788	10,977	10,804	
7	8,505	2,464	6,041	1,549	12,511	11,520	
8	8,094	2,557	5,537	1,285	10,063	12,736	

(前年比・%)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額(※)	出来高 (総統計)	公的固定 資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
19年度	0.5	16.9	△ 8.0	0.8	△ 4.1	△ 3.2	△ 4.1
20	3.3	6.5	1.2	23.5	0.1	△ 0.4	△ 1.3
20年Ⅲ期	△ 0.1	6.5	△ 3.1	30.7	4.7	△ 0.4	△ 0.9
Ⅳ	5.8	17.4	0.0	58.3	△ 2.8	△ 0.3	△ 1.3
21年Ⅰ期	5.8	3.6	8.6	7.3	7.8	2.1	0.3
Ⅱ	9.2	24.4	1.2	△ 14.5	13.0	11.8	11.1
20年8年	△ 5.4	5.8	△ 10.3	14.0	△ 6.0	0.6	/
9	△ 6.4	△ 0.9	△ 9.0	2.7	5.5	△ 0.2	
10	29.2	66.4	12.2	242.0	△ 0.4	0.3	
11	△ 13.9	△ 10.9	△ 15.3	3.9	△ 2.8	△ 1.7	
12	0.5	△ 1.5	1.7	11.9	△ 6.4	0.4	
21年1月	△ 7.6	△ 9.3	△ 6.5	△ 26.0	1.9	0.0	
2	△ 4.9	△ 11.4	5.7	△ 26.5	△ 2.8	1.3	
3	18.1	16.8	19.8	46.3	15.3	4.5	
4	21.8	50.0	△ 3.2	12.8	20.5	11.3	
5	27.5	64.0	10.1	△ 2.9	2.5	14.3	
6	△ 4.0	△ 9.3	△ 1.6	△ 26.9	12.7	10.1	
7	△ 3.9	△ 16.6	2.5	△ 24.7	2.5	8.5	
8	0.2	△ 7.9	4.5	△ 16.0	8.7	4.1	
4月~8月	3.4	5.5	2.3	△ 17.5	9.6	9.4	

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計」「建設総合統計」、内閣府「四半期別GDP速報」

北海道建設業信用保証(株)・東日本建設業保証(株)・西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

注)公的固定資本形成は、名目、原系列値。

(※)公共機関からの受注工事が請負契約時点ベースでの請負契約の全体額を計上しているのに対し、公共工事請負金額は前払保証契約時点ベースでの前払保証の対象となる請負金額を計上している等の理由により、必ずしも両者の傾向は一致しない。

(3) 住宅

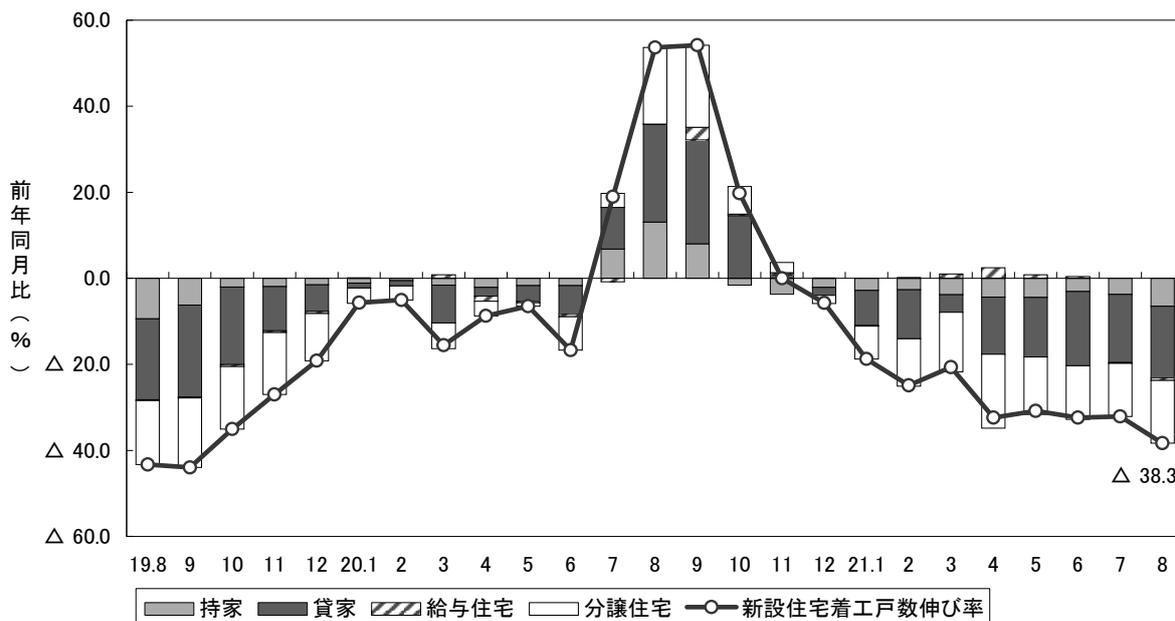
8月の着工は59,749戸。前年同月比でみると、持家、貸家、分譲住宅がともに減少したため、全体で38.3%減少(9ヶ月連続)となった。

季節調整済年率換算値の推移をみると、平成20年4-6月期1,115千戸(同1.2%減)、7-9月期1,102千戸(同1.2%減)、10-12月期1,031千戸(同6.4%減)、平成21年1-3月期887千戸(同14.0%減)、4-6月期758千戸(同14.5%減)、7月746千戸、8月676千戸となった。

新設住宅着工戸数(戸、前年比・%)

区分 年度年月		総戸数	総計	持家	貸家	分譲住宅		季節調整済 年率換算値 総戸数 (千戸)	
						マンション			
年 度	18年度	1,285,246	2.9	0.9	3.9	3.3	4.8		
	19	1,035,598	△ 19.4	△ 12.3	△ 19.9	△ 26.1	△ 34.0		
	20	1,039,180	0.3	△ 0.4	3.2	△ 3.5	3.1		
月 次	20年8月	96,905	53.6	35.6	59.6	73.7	128.8	1,098	
	9	97,184	54.2	19.9	66.9	82.8	217.6	1,109	
	10	92,123	19.8	△ 4.3	35.4	28.9	96.3	1,044	
	11	84,277	0.0	△ 11.7	1.7	11.0	43.3	986	
	12	82,197	△ 5.8	△ 7.3	△ 4.1	△ 7.5	5.0	1,001	
	21年1月	70,688	△ 18.7	△ 10.8	△ 18.4	△ 26.4	△ 25.1	957	
	2	62,303	△ 24.9	△ 9.9	△ 28.5	△ 34.4	△ 35.6	866	
	3	66,628	△ 20.7	△ 13.1	△ 11.2	△ 42.1	△ 47.8	888	
	4	66,198	△ 32.4	△ 15.8	△ 33.0	△ 54.3	△ 65.9	779	
	5	62,805	△ 30.8	△ 14.9	△ 33.3	△ 48.1	△ 60.3	758	
	6	68,268	△ 32.4	△ 10.5	△ 38.4	△ 50.0	△ 68.2	749	
	7	65,974	△ 32.1	△ 12.2	△ 36.0	△ 50.1	△ 71.9	746	
	8	59,749	△ 38.3	△ 20.0	△ 42.2	△ 53.5	△ 71.7	676	
	累計	4月～8月	322,994	△ 33.2	△ 14.7	△ 36.6	△ 51.4	△ 67.5	—

新設住宅着工戸数の伸び率と利用関係別寄与度



資料:国土交通省「建築着工統計」

<持家>

8月の着工は25,147戸。すべての地域で減少し、全体では前年同月比20.0%減少(11ヶ月連続)した。

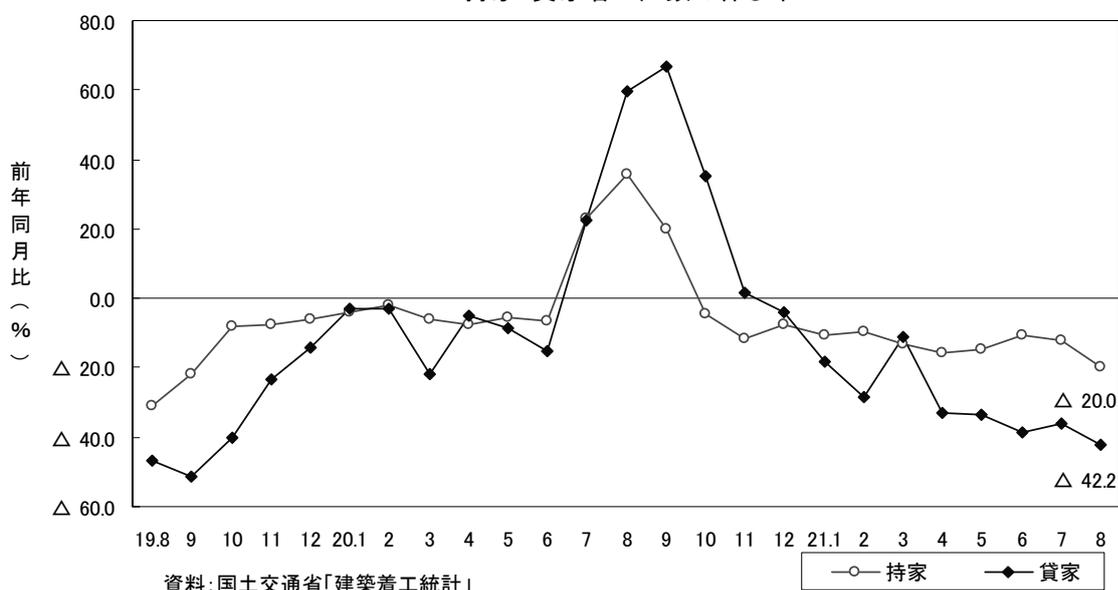
<貸家>

8月の着工は22,141戸。沖縄で増加、その他の地域で減少し、全体では前年同月比42.2%減少(9ヶ月連続)した。

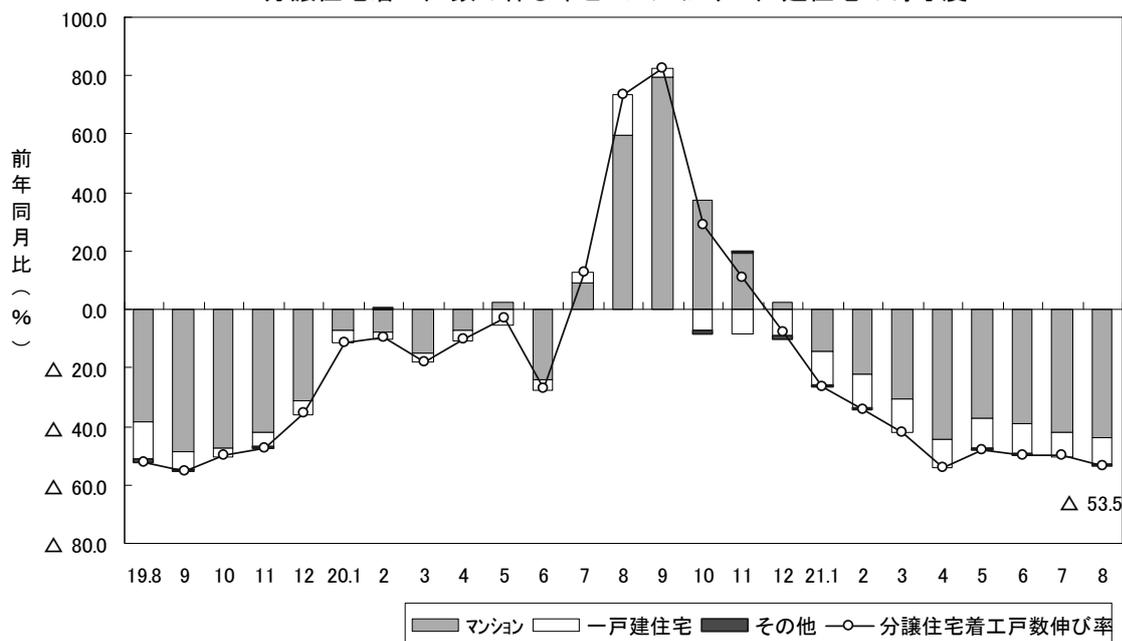
<分譲>

8月の着工は12,270戸。沖縄で増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比53.5%減少(9ヶ月連続)した。マンションは4,577戸で、首都圏は増加(2,859戸、前年同月比68.3%減、8ヶ月連続)、中部圏は減少(184戸、同80.5%減、5ヶ月連続)、近畿圏は減少(763戸、同73.7%減、9ヶ月連続)、その他の地域は増加(771戸、同76.7%減、8ヶ月連続)し、全体では同71.7%減少(8ヶ月連続)した。一戸建住宅は7,642戸で、同24.3%減少(11ヶ月連続)した。

持家・貸家着工戸数の伸び率



分譲住宅着工戸数の伸び率とマンション、一戸建住宅の寄与度



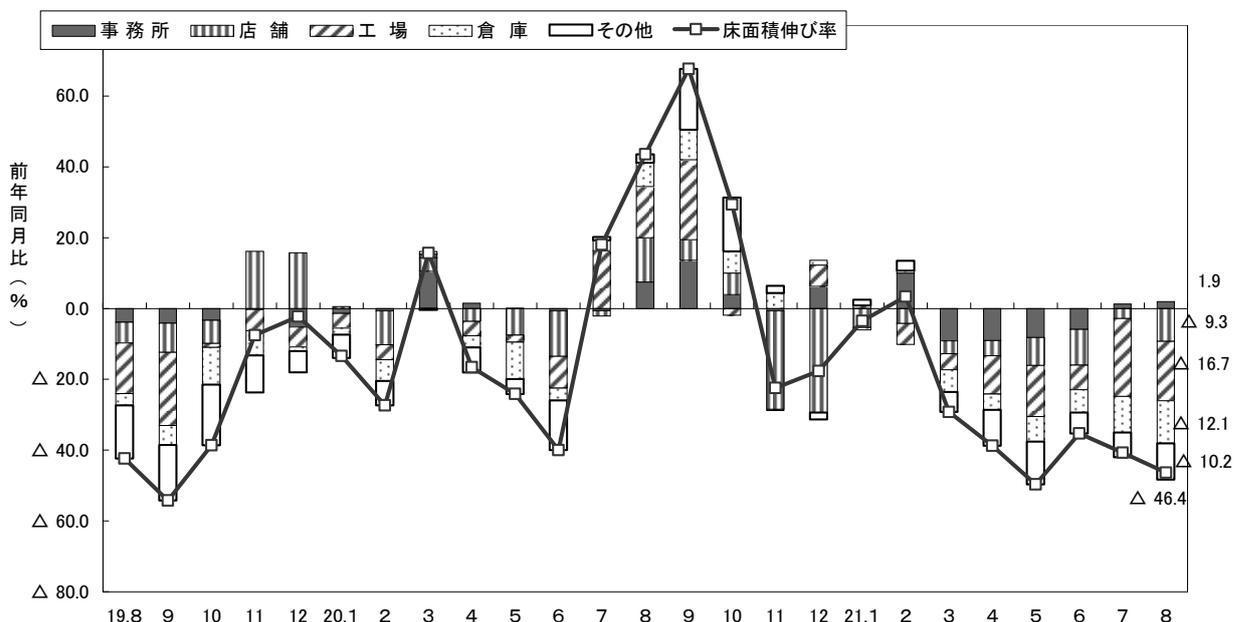
(4) 民間非居住建築

8月の着工床面積は266万㎡で、前年同月比46.4%減少(6ヶ月連続)した。

着工床面積を用途別にみると、事務所は70万㎡で前年同月比15.8%増加(2ヶ月連続)、店舗は38万㎡で同55.1%減少(10ヶ月連続)、工場は32万㎡で同72.5%減少(7ヶ月連続)、倉庫は34万㎡で同63.8%減少(6ヶ月連続)した。

日本銀行「全国企業短期経済観測調査」(平成21年9月実施)で平成21年度の設備投資計画をみると、製造業(大企業)は前年度比25.6%減少(平成20年度前年度比7.2%減少)となり、非製造業(大企業)は同2.2%減少(平成20年度同6.2%減少)となった。また、全産業(大企業)の生産・営業用設備計画断D I(過剰-不足)をみると、「最近」は21、「先行き」は16となり、設備過剰感はやや弱まっているものの依然高水準にある。

民間非居住用建築物着工床面積の伸び率と用途別寄与度



区分		床面積					工事費予定額				
		総計	事務所	店舗	工場	倉庫	総計	事務所	店舗	工場	倉庫
年	18年度	0.6	2.5	△ 9.5	8.8	8.9	3.2	2.1	△ 3.1	10.3	17.4
	19	△ 12.2	△ 5.2	14.9	△ 21.9	△ 19.1	△ 8.3	3.2	13.6	△ 15.1	△ 13.4
	20	△ 7.6	14.8	△ 36.3	4.7	△ 4.6	11.7	33.3	△ 24.9	35.2	13.9
月次	20年8月	43.5	75.7	107.1	77.6	32.6	64.0	88.4	169.5	109.2	96.2
	9	67.6	137.9	35.7	149.6	52.0	65.9	115.7	48.7	165.4	72.6
	10	29.4	34.3	52.4	△ 5.8	75.0	36.0	58.1	106.0	8.8	97.0
	11	△ 22.4	△ 6.5	△ 71.8	△ 1.7	66.4	△ 7.9	27.2	△ 64.2	△ 5.4	61.1
	12	△ 17.7	74.3	△ 77.5	33.7	13.8	8.0	117.5	△ 70.2	62.3	26.5
	21年1月	△ 3.5	0.2	△ 24.8	4.8	△ 3.3	17.1	18.3	△ 25.7	50.6	8.0
	2	3.3	72.8	△ 25.3	△ 24.6	5.2	36.7	121.6	△ 21.4	△ 17.4	21.7
	3	△ 29.2	△ 46.3	△ 20.4	△ 20.4	△ 51.0	△ 24.8	△ 37.3	△ 13.6	△ 38.5	△ 45.4
	4	△ 38.8	△ 48.0	△ 30.3	△ 48.8	△ 34.8	△ 31.3	△ 38.1	△ 18.9	△ 41.5	△ 39.7
	5	△ 49.7	△ 57.6	△ 48.1	△ 60.3	△ 51.1	△ 50.8	△ 54.4	△ 47.4	△ 52.6	△ 59.0
6	△ 35.3	△ 41.5	△ 46.4	△ 33.5	△ 46.1	△ 25.4	△ 6.8	△ 49.8	△ 41.0	△ 45.0	
7	△ 40.7	16.7	△ 18.7	△ 71.3	△ 68.6	△ 46.2	45.2	△ 4.9	△ 85.8	△ 67.3	
8	△ 46.4	15.8	△ 55.1	△ 72.5	△ 63.8	△ 36.3	74.4	△ 63.0	△ 72.9	△ 75.6	
累計	4月～8月	△ 42.1	△ 29.2	△ 40.6	△ 58.9	△ 54.5	△ 39.0	△ 3.9	△ 40.2	△ 67.4	△ 60.5

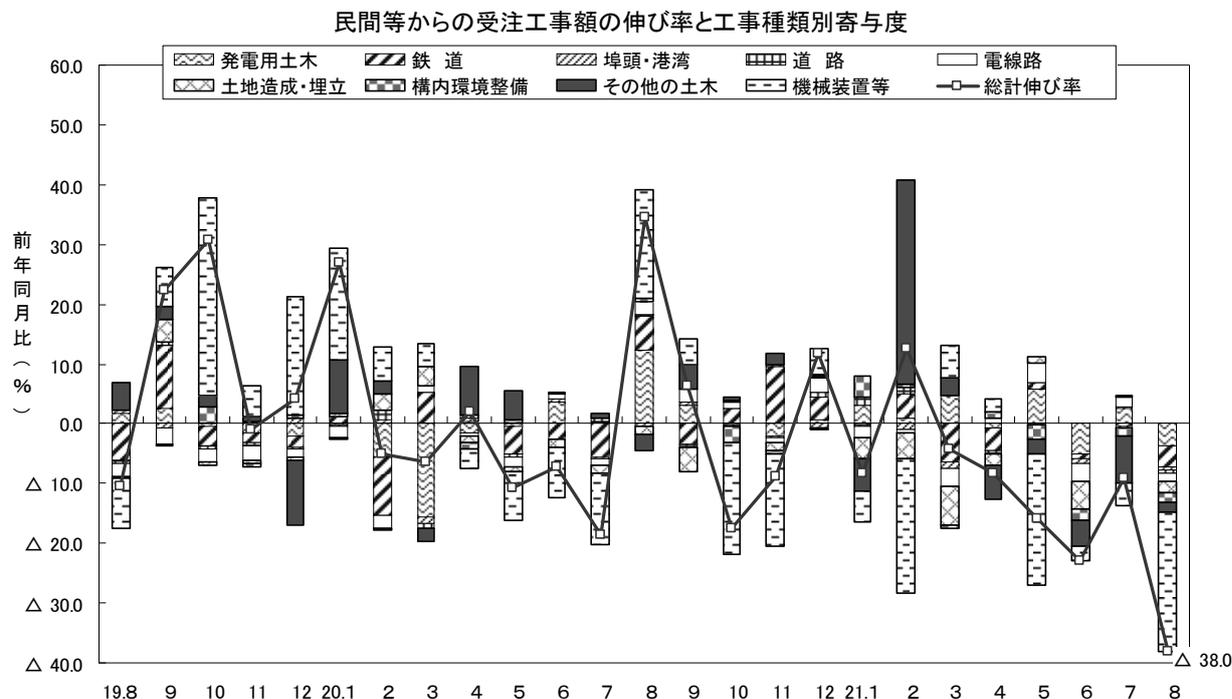
資料：国土交通省「建築着工統計」

(5) 民間等からの受注工事（土木工事及び機械装置等工事）

8月の土木工事及び機械装置等工事の受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は2,122億円で、前年同月比38.0%減少（6ヶ月連続）した。

発注者別でみると、卸売業・小売業（前年同月比48.4%増、寄与度+0.4）、農林漁業（前年同月比47.6%増、寄与度+0.1）が増加し、製造業（同70.6%減、寄与度-25.9）、運輸業、郵便業（同22.3%減、寄与度-4.0）等が減少した。

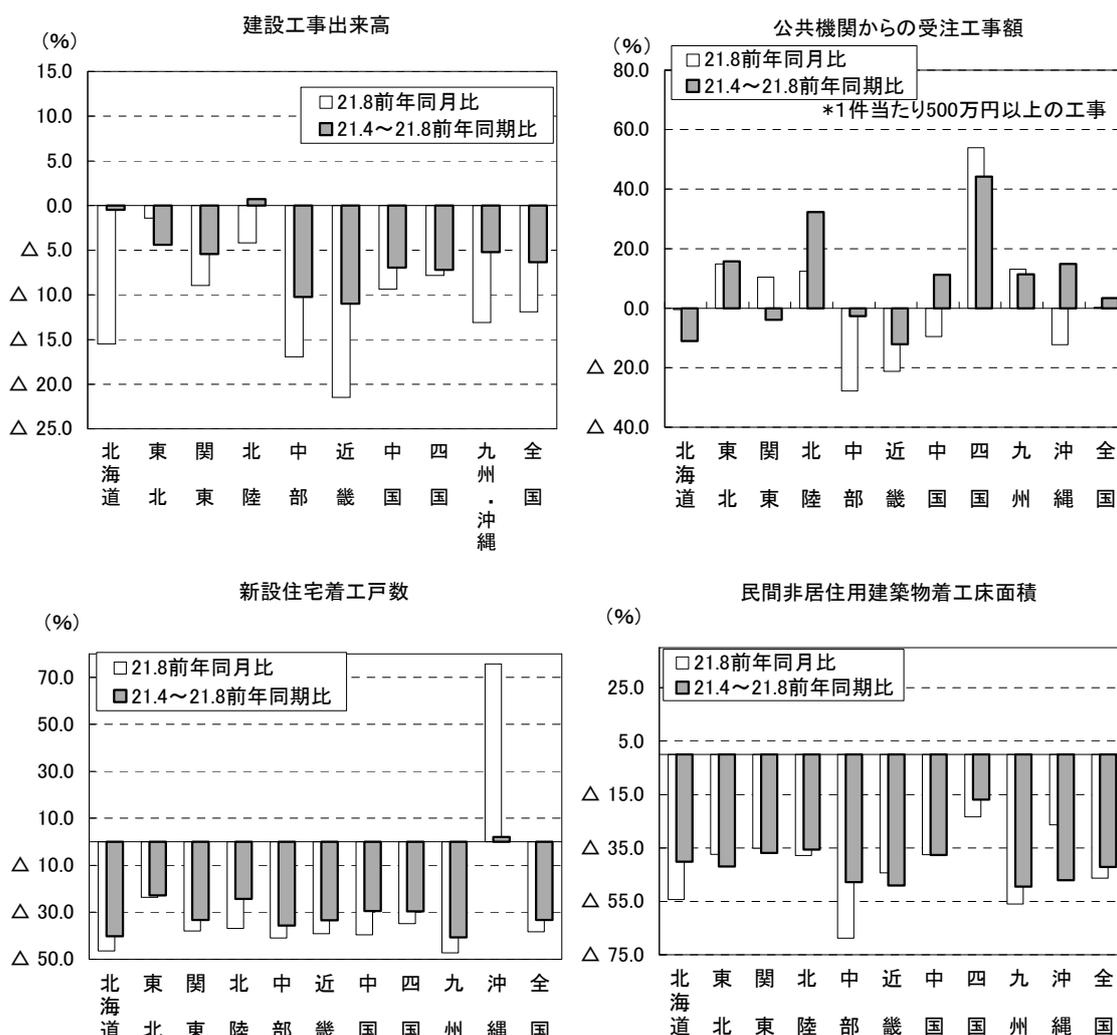
工事種類別でみると、管工事（寄与度+2.5）が増加し、発電用土木工事（寄与度-3.7）、鉄道工事（寄与度-3.5）等が減少した。



区分		(前年比・%)								
年度年月	総計	発電用土木	鉄 道	埠頭・港湾	道 路	電線路	土地造成・埋立	構内環境整備	機械装置等	
年 度	18年度	13.5	110.9	32.2	△ 1.0	△ 1.0	17.6	△ 24.4	25.1	10.6
	19	12.5	△ 39.8	7.7	△ 23.0	△ 9.7	△ 7.2	18.1	3.1	35.1
	20	△ 1.7	68.8	△ 1.7	△ 22.9	21.3	△ 2.0	△ 30.3	0.8	△ 11.4
月 次	20年8月	34.6	331.6	36.4	△ 22.0	41.2	21.9	△ 17.7	15.2	46.3
	9	6.3	48.9	△ 15.1	91.0	△ 28.6	29.2	△ 44.2	7.3	13.1
	10	△ 17.5	△ 5.2	27.4	3.8	△ 21.4	11.6	3.4	△ 57.4	△ 31.8
	11	△ 8.8	△ 47.6	86.5	△ 11.7	46.0	△ 9.6	△ 19.2	△ 16.4	△ 31.7
	12	11.7	34.1	27.2	△ 32.9	68.4	27.0	△ 3.6	14.9	8.5
	21年1月	△ 8.4	291.5	△ 0.6	△ 36.1	118.4	△ 15.1	△ 59.9	163.5	△ 12.2
	2	12.5	90.1	29.0	△ 80.1	39.5	△ 5.3	△ 50.3	26.0	△ 47.2
	3	△ 4.2	238.6	△ 22.3	△ 70.7	△ 11.5	△ 38.6	△ 60.6	△ 24.1	16.5
4	△ 8.4	△ 21.0	△ 23.0	△ 3.5	△ 24.9	6.4	△ 24.5	40.9	6.5	
5	△ 15.9	243.2	6.7	△ 4.7	△ 11.9	41.1	15.5	△ 61.4	△ 48.6	
6	△ 22.8	△ 50.0	△ 7.1	△ 49.4	11.4	△ 23.0	△ 54.2	△ 49.3	△ 7.1	
7	△ 9.2	163.5	△ 3.8	255.6	△ 17.4	8.0	2.2	△ 32.4	△ 10.3	
8	△ 38.0	△ 31.7	△ 22.3	△ 45.6	△ 37.4	△ 15.8	△ 43.4	△ 50.5	△ 54.4	
累計	4月～8月	△ 19.9	13.1	△ 8.0	△ 17.4	△ 12.4	4.9	△ 20.9	△ 31.2	△ 17.2

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計」

(6) 地域別動向



区分	出来高		受注・着工			企業 建設業 倒産 件数 4月～9月	雇用		有効求人 倍率 (季調済)	
	建設 工事 出来高 4月～8月	公共機関 受注 4月～8月	新設 住宅 4月～8月	民間非 居住用 建築物 4月～8月	民間等 受注 (土木・機械) 4月～8月		建設技能 労働者不足率 (6職種計・原数値) 8月	有効求人 倍率 8月	前月差	
	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	%	前年差	倍	前月差	
北海道	△ 0.5	△ 11.0	△ 40.2	△ 40.1	26.4	△ 48.3	△ 1.2	△ 0.4	0.34	0.01
東北	△ 4.4	15.7	△ 22.8	△ 41.9	△ 3.9	△ 29.8	△ 2.3	△ 0.5	0.33	0.00
関東	△ 5.4	△ 3.9	△ 33.2	△ 36.8	△ 24.0	22.0	△ 2.6	△ 3.1	0.43	△ 0.01
北陸	0.7	32.3	△ 24.3	△ 35.6	△ 33.2	△ 9.0	0.0	0.7	0.46	△ 0.00
中部	△ 10.2	△ 2.7	△ 35.7	△ 47.8	△ 28.2	18.7	△ 1.5	△ 1.2	0.44	0.01
近畿	△ 11.0	△ 12.1	△ 33.4	△ 49.0	△ 37.3	7.7	△ 6.6	△ 8.1	0.44	△ 0.01
中国	△ 6.9	11.2	△ 29.4	△ 37.6	15.1	△ 40.7	△ 0.5	0.5	0.53	0.00
四国	△ 7.2	44.2	△ 29.6	△ 16.9	△ 5.1	△ 18.5	△ 0.1	1.7	0.52	△ 0.01
九州	△ 5.2	11.3	△ 40.7	△ 49.4	6.3	△ 16.0	△ 1.5	4.4	0.38	0.00
沖縄	—	14.8	2.1	△ 47.1	26.3	△ 30.8	0.9	0.1	0.28	0.01
全国	△ 6.4	3.4	△ 33.2	△ 42.1	0.0	△ 1.8	△ 2.1	△ 1.6	0.42	△ 0.00

資料：国土交通省「建設総合統計」、「建設工事受注動態統計」、「建築着工統計」、「建設労働需給調査」、

帝国データバンク「全国企業倒産集計」、厚生労働省「職業安定業務統計」

注) 建設工事出来高の「九州」欄は、沖縄を含む値となっている。

建設技能労働者不足率は、プラスは不足、マイナスは過剰を意味する。

雇用に関する指標の前年差、前月差の単位は、ポイント。